

注3

大学番号：208

[平成31年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

明治国際医療大学大学院 保健医療学研究科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明治東洋医学院
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部

職名・氏名 ケイエイクカクシツ 経営企画室 タケシマ リョウ 竹嶋 亮

電話番号 0771-72-1231

（夜間） 0771-72-1184

F A X 0771-72-1040

e-mail sec_plan@meiji-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学研究科

＜柔道整復学専攻＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 附帯事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治東洋医学院

(2) 大学名

明治国際医療大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒629-0392

京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニグチ カズヒコ) 谷口 和彦 (平成26年6月)		
学長	(ヤノ タダシ) 矢野 忠 (平成30年4月)		
研究科長	(ハヤシ トモヤ) 林 知也 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学研究科 柔道整復学専攻 (修士課程) 修士(柔道整復学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	2年	4人	— 年次人	8人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	4 (—) [—]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25倍	—倍	
志願者数	1 (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	1 (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	1 (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	1 (—) [—]	0 (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	0.25		—		—		—		—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	1 (-) [-]	0 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	
2年次	/		- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	
3年次	/		/		- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	
4年次	/		/		/		- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	
計	1 [1] (1)	0 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	1人	0人	令和元年度	0人	0人	該当なし
令和2年度	-人	-人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
令和3年度	-人	-人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
令和4年度	-人	-人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
令和5年度	-人	-人	令和元年度	-人	-人	
			令和2年度	-人	-人	
			令和3年度	-人	-人	
			令和4年度	-人	-人	
			令和5年度	-人	-人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{1} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学研究科 柔道整復学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤科目	研究計画法特論	1前	2								1
	医療英語特論	1前	2			1					
	データ解析学特論	1後	2								2
	運動器系構造学特論	1前		2		2					
	スポーツ機能学特論	1前		2		1					
	スポーツ医学特論	1後		2		2					
	スポーツバイオメカニクス特論	1後		2		2					
	スポーツ柔道整復学特論	1前		2		1			1		
	外傷学特論	1後		1							3
	運動能力計測演習	1前		1		1		1			
	医療画像解析演習	1後		1			1				1
	国際コミュニケーション演習	1前	1								1
	プレゼンテーション演習	1前	1								1
	インターンシップ演習	1後	2				1	2	2		
小計(14科目)	-	10	13	0	7	1	3	3	0	8	
専門科目	柔道整復学特論	1後	2			1	1				
	柔道整復学演習	1・2通	4			7	1	3	2		
	特別研究	1・2通	8			7	1	3	2		
	小計(3科目)	-	14	0	0	7	1	3	2	0	0
合計(17科目)	-	24	13	0	8	1	4	3	0	8	
卒業要件及び履修方法											
必修科目24単位、基盤科目の選択科目から8単位以上を修得し、合計32単位以上を修得しなければならない。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤科目	研究計画法特論	1前	2								1
	医療英語特論	1前	2			1					
	データ解析学特論	1後	2								2
	運動器系構造学特論	1前		2		1					
	スポーツ機能学特論	1前		2		2					
	スポーツ医学特論	1後		2		2					
	スポーツバイオメカニクス特論	1後		2		2					
	スポーツ柔道整復学特論	1前		2		1			1		
	外傷学特論	1後		1							3
	運動能力計測演習	1前		1		1		1			
	医療画像解析演習	1後		1			1				1
	国際コミュニケーション演習	1前	1								3
	プレゼンテーション演習	1前	1								1
	インターンシップ演習	1後	2				1	2	3		
小計(14科目)	-	10	13	0	7	1	3	4	0	10	
専門科目	柔道整復学特論	1後	2			1	1				
	柔道整復学演習	1・2通	4			8	2	3	2		
	特別研究	1・2通	8			8	2	3	2		
	小計(3科目)	-	14	0	0	8	2	3	2	0	0
合計(17科目)	-	24	13	0	9	2	4	4	0	10	
卒業要件及び履修方法											
必修科目24単位、基盤科目の選択科目から8単位以上を修得し、合計32単位以上を修得しなければならない。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当者の変更により、「運動器系構造学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「スポーツ機能学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育内容充実のため、「国際コミュニケーション演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「インターンシップ演習」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師2」「助教2」から「准教授1」「講師2」「助教3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「柔道整復学演習」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師3」「助教2」から「教授8」「准教授2」「講師3」「助教2」に変更。
- ・教育内容充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授7」「准教授1」「講師3」「助教2」から「教授8」「准教授2」「講師3」「助教2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	8 科目	0 科目	17 科目	9 科目 [0]	8 科目 [0]	0 科目 [0]	17 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	11,662㎡	—	㎡	—	㎡	11,662㎡		
	運動場用地	30,136㎡	—	㎡	—	㎡	30,136㎡		
	小 計	41,798㎡	—	㎡	—	㎡	41,798㎡		
	そ の 他	136,363㎡	—	㎡	—	㎡	136,363㎡		
	合 計	178,161㎡	—	㎡	—	㎡	178,161㎡		
(2) 校舎	専 用	19,804㎡	—	㎡	—	㎡	19,804㎡		
	(19,804㎡)	(—	㎡)	(—	㎡)	(19,804㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	23室	9室	18室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学研究科 柔道整復学専攻			14 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具、標本は、 教育研究用機器備品等 の充実を行い、増加と なった(元) 大学全体での共用分を含む	
	保健医療学研究科 柔道整復学専攻	70,900 [10,082] (70,100 [10,076])	307 [121] (307 [121])	3 [3] (3 [3])	2,608 (2,600)	7,685 (7,543) (元) (7,505)	345 (347) (元) (345)		
	計	70,900 [10,082] (70,100 [10,076])	307 [121] (307 [121])	3 [3] (3 [3])	2,608 (2,600)	7,685 (7,543) (元) (7,505)	345 (347) (元) (345)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	465㎡	94		78,000					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	7,476㎡	テニスコート4面 ゴルフ練習場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等は、研究科単位での算出不能なため、学部との合計 共同研究費等は、大学全体
		教員1人当り研究費等	170千円	170千円	図書購入費	200千円	200千円	200千円	
		共同研究費等	2,700千円	2,700千円	設備購入費	6,000千円	600千円	600千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書・設備購入費は、保健医療学部柔道整復学科との合計	
		1,450千円	1,150千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、寄附金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	明治国際医療大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
鍼灸学部										
鍼灸学科	4	50	-	200	学士 (鍼灸学)	0.85	-	昭和58	京都府南丹市日吉町 保野田ヒノ谷6番地1	
保健医療学部										
柔道整復学科	4	40	-	160	学士 (柔道整復学)	1.00	-	平成16	同上	
救急救命学科	4	50	-	200	学士 (救急救命学)	1.10	-	平成29	同上	
看護学部			3年次							
看護学科	4	80	5	285	学士 (看護学)	1.08	平成31	平成18	同上	定員変更(20)
鍼灸学研究科										
鍼灸学専攻	2	4	-	12	修士 (鍼灸学)	1.00	-	平成3	同上	
臨床鍼灸学専攻	2	8	-	16	修士 (臨床鍼灸学)	0.24	-	平成23	同上	
鍼灸学専攻 (通信教育課程)	2	16	-	32	修士 (鍼灸学)	1.06	-	平成23	同上	
鍼灸学専攻	3	4	-	12	博士 (鍼灸学)	0.25	-	平成6	同上	
保健医療学研究科										
柔道整復学専攻	2	4	-	8	修士 (柔道整復学)	0.25	-	平成31	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学研究科 柔道整復学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科 長)	林 知也 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		医療英語特論 スポーツ機能学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	鳴瀬 善久 (53) <平成31年4月> 博士(理学)
		運動器系構造学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	廣瀬 英司 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
		運動器系構造学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	長尾 淳彦 (61) <平成31年4月> 体育学修士
		スポーツ医科学特論 スポーツ柔道整復学特論
専	教授	齊藤 昌久 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		スポーツ医科学特論 スポーツバイオメカニクス特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	岡本 武昌 (76) <平成31年4月> 工学修士
		スポーツバイオメカニクス特論 柔道整復学演習 特別研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (研究科 長)	林 知也 (50) <平成31年4月> 博士(医学)
		医療英語特論 スポーツ機能学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	鳴瀬 善久 (53) <平成31年4月> 博士(理学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	教授	
専	教授	長尾 淳彦 (61) <平成31年4月> 体育学修士
		スポーツ医科学特論 スポーツ柔道整復学特論
専	教授	齊藤 昌久 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		スポーツ機能学特論 スポーツ医科学特論 スポーツバイオメカニクス 特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	岡本 武昌 (76) <平成31年4月> 工学修士
		スポーツバイオメカニクス 特論 柔道整復学演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 和久 (57) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		運動能力計測演習 柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	池内 隆治 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	准教授	川村 茂 (47) <平成31年4月> 修士(人間科学)
		医療画像解析演習 インターンシップ演習 柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	講師	赤澤 淳 (44) <平成31年4月> 博士(工学)
		運動能力計測演習 柔道整復学演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 和久 (57) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		運動能力計測演習 柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	池内 隆治 (65) <平成31年4月> 博士(医学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	教授	岡田 成賛 (65) <平成31年4月> 歯学博士
		運動器系構造学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	教授	宮坂 卓治 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	准教授	川村 茂 (47) <平成31年4月> 修士(人間科学)
		医療画像解析演習 インターンシップ演習 柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	准教授	星 伴路 (44) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	講師	赤澤 淳 (44) <平成31年4月> 博士(工学)
		運動能力計測演習 柔道整復学演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	秋津 知宏 (39) <平成31年4月> 学士(鍼灸学)
		インターンシップ演習
専	講師	神内 伸晃 (36) <平成31年4月> 学士(鍼灸学)
		インターンシップ演習 柔道整復学演習 特別研究
専	講師	木村 篤史 (48) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	助教	泉 晶子 (33) <平成31年4月> 学士(柔道整復学)
		インターンシップ演習 柔道整復学演習 特別研究
専	助教	大木 琢也 (31) <平成31年4月> 修士(医療福祉工学)
		スポーツ柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	助教	棚原 勝平 (37) <平成31年4月> 学士(鍼灸学)
		インターンシップ演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	神内 伸晃 (36) <平成31年4月> 学士(鍼灸学)
		インターンシップ演習 柔道整復学演習 特別研究
専	講師	木村 篤史 (48) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		柔道整復学演習 特別研究
専	講師	吉田 勲生 (44) <平成31年4月> 修士(体育学)
		インターンシップ演習
専	助教	泉 晶子 (33) <平成31年4月> 学士(柔道整復学)
		インターンシップ演習 柔道整復学演習 特別研究
専	助教	大木 琢也 (31) <平成31年4月> 修士(医療福祉工学)
		スポーツ柔道整復学特論 柔道整復学演習 特別研究
専	助教	棚原 勝平 (37) <平成31年4月> 学士(鍼灸学)
		インターンシップ演習
専	助教	濱口 夏花 (30) <平成31年4月> 専門士
		インターンシップ演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	梅田 雅宏 (62) <平成31年4月> 理工学士
		データ解析学特論 医療画像解析演習
兼任	教授	樋口 敏宏 (62) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論
兼任	講師	渡辺 康晴 (48) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		研究計画法特論
兼任	助教	河合 裕子 (37) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		データ解析学特論
兼任	講師	田中 秀治 (60) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論
兼任	講師	大久保 衛 (71) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	梅田 雅宏 (62) <平成31年4月> 理工学士
		データ解析学特論 医療画像解析演習
兼任	教授	樋口 敏宏 (62) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論
兼任	講師	渡辺 康晴 (48) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		研究計画法特論
兼任	助教	河合 裕子 (37) <平成31年4月> 博士(鍼灸学)
		データ解析学特論
兼任	講師	田中 秀治 (60) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論
兼任	講師	大久保 衛 (71) <平成31年4月> 医学博士
		外傷学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	D' Souza Rohan (52) <平成31年4月> Ph.D (History) (インド)
		国際コミュニケーション演習
兼任	講師	赤澤 堅造 (75) <平成31年4月> 工学博士
		プレゼンテーション演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	D' Souza Rohan (52) <平成31年4月> Ph.D (History) (インド)
		国際コミュニケーション演習
兼任	講師	赤澤 堅造 (75) <平成31年4月> 工学博士
		プレゼンテーション演習
兼任	講師	BHATTE Pallavi Kamlakar (46) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		国際コミュニケーション演習
兼任	講師	Sugandhi Aishwarya Suresh (45) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		国際コミュニケーション演習

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・専任岡田成賛教授が「運動器系構造学特論」を担当のため、専任鳴瀬善久教授の担当を削除。
- ・専任廣瀬英司教授就任辞退に伴い、「運動器系構造学特論」「柔道整復学演習」「特別研究」を専任岡田成賛教授が担当。
- ・専任齊藤昌久教授が「スポーツ機能学特論」を追加で担当。
- ・専任宮坂卓治教授が「柔道整復学演習」「特別研究」を担当。
- ・専任星伴路准教授が「柔道整復学演習」「特別研究」を担当。
- ・専任秋津知宏講師就任辞退に伴い、「インターンシップ演習」を専任吉田勲生講師が担当。
- ・専任濱口夏花助教が「インターンシップ演習」を担当。
- ・兼任BHATTE Pallavi Kamlakar講師が「国際コミュニケーション演習」を担当。
- ・兼任Sugandhi Aishwarya Suresh講師が「国際コミュニケーション演習」を担当。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	1	4	3	16	9	2	4	4	19
(8)	(1)	(4)	(3)	(16)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
9	13	3			10	15	4		
(9)	(13)	(3)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
9	2	4	4	19	9	2	4	4	19
[1]	[1]	[0]	[1]	[3]	[1]	[1]	[0]	[1]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
10	15	4			10	15	4		
[1]	[2]	[1]			[1]	[2]	[1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
60 歳	5 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{5}{16} = \boxed{31.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{5}{19} = \boxed{26.31} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	廣瀬 英司	H30.8	選択	運動器系構造学特論	①	H30.8一身上の都合のため就任辞退（元）			
				必修	柔道整復学演習	①				
				必修	特別研究	①				
2	講師	秋津 知宏	H31.3	必修	インターンシップ演習	①	H31.3同法人姉妹校への異動のため就任辞退（元）			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{16} = 12.5\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年度に就任となっていた専任教員予定者2名は、柔道整復学系の分野において豊富な実務経験を有しており関連分野の専門知識等を教授するうえで適任者として就任する予定であったが、うち1名は一身上の都合により、本学への就任が不可能になったものであり、うち1名は同法人の姉妹校に異動となったために本学での指導が不可能になったものであり、やむを得ない理由によるものと判断した。就任辞退の教員が担当を予定していた授業については、他の専任教員を充てて既に補充済であるため問題がない状況である。なお、研究科開設前の就任辞退でもあり、学生へは周知していない。(元)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p> <p>遵守事項</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことを踏まえて、研究科の開設時に中堅及び若手教員を補充し、教員組織体制を強化している状態である。</p> <p>履行中</p>	<p>定年年齢を超えている専任教員については、完成年度までの2年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。併せて、中堅及び若手教員の育成状況を踏まえた学内昇格や修士課程修了者の新規採用など、教員組織に関する中期的な人事計画を策定する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学研究科 柔道整復学専攻（修士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
-	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学の教学の理念及び各学部等の教育目標に基づくファカルティ・ディベロップメント（本学及び本学の教員が、教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。以下「FD」という。）を推進することを目的として、FD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は年間3回程度実施し、各学部・医学教育研究センターの教員と事務職員が委員として構成されている。

c 委員会の審議事項等

委員会は、次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。

(1) FD推進のための企画、立案、実施及び調整等に関すること。

(2) FDに関する報告書等の作成に関すること。

(3) その他FDの推進に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

①FD研修会

②授業評価アンケート

b 実施方法

①学内外の講師による講演会を実施

②前後期の授業終了時に、全学生に対して実施しており、アンケートの集計結果は学内のwebサイトで周知報告している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①年1～2回開催、専任教員全員を参加対象としている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①研修会を通じて共有した優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期の各授業終了時に授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生へはwebサイトで集計結果を公表している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科の設置の目的は、大学院の目的にのっとり、保健医療学の分野の発展に寄与することができる研究能力と高度な専門的実践力を兼ね備えた指導的立場に立つ医療人を育成することであり、柔道整復学専攻の目的は、柔道整復学研究に必要な高度な研究能力ならびに専門的な研究能力を有する人材養成を行うとともに、柔道整復学の科学研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することである。

初年度である平成31年度入試においては、学内の学部生を対象とした大学院に関する入学案内、新研究科の開設記念講演会や入試説明会の開催、資料請求者に対するパンフレットの配布等の広報活動を行ったが、定員を充足することができなかった。

今後令和2年度入試以降、本目的を達成するために志願者確保に傾注したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年6月1日公表予定（平成30年度版）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、京都府を中心とした近隣大学関係者等に配布

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し認証された（平成27年4月～令和4年3月）
- ・次回令和4年3月までに評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年5月31日頃)

b 公表無の場合の特段の理由 (該当なし)

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。